

工場見学『花王 川崎工場』 2015 年 10 月 15 日※見学時

・見学の順序

①映像を通した会社(工場)の概要

花王は人とモノ両面からの本質を求めた研究を行い、「よきモノづくり」を理念として掲げている。事業展開国は東アジア・ヨーロッパ・アメリカ等が中心。

国内には 9 か所の工場があり、川崎工場の従業員数は約 270 人ほど。

企業内における川崎工場の役割としては下記のものが挙げられる。

- ・東日本への確実な供給責任を負う
- ・低環境負荷、低コスト化
- ・労働生産性の追求とゆとりの創出

ここ 5 年ほど香り付きの商品がよく売れている (EX.バラの香り付きの製品箱が沢山ディスプレイしてあった)

②実際の見学(充填工程→倉庫→シャンプー・リンス関連部→集中制御室)

工場内作業の効率化をするための影響として内部はやはり人の姿が少なめだった。

充填工程では機械で空気を入れ袋を広げてから内容物を入れる。

ここでは 50/min×4 台のスピードで一種類の洗剤が充填できるそう。

そして出来上がった製品を段ボールへ箱詰めする際にも機械が使われていた。

倉庫内では決められた規格のパレットという板を使い、箱詰めされた製品を保管する。その在庫管理はパソコンで行い、不測の事態に備え一か所に複数種の製品を置いておくようにしている。

シャンプーやリンスを製造する部分に関しては薬事法があるため直接出入りすることはできなかった。ほとんど無菌室状態で製造されているとのこと。

集中制御室ではある程度の職員数がまとまっており、24 時間・交代制で工場内の様々なことをパソコンで制御している。

③考えたこと

今回の工場見学を通して思ったことがある。工場内部の風景は機械音が響く空間だったが、ほとんど工具がいなかったのは、昨今の全自動化を進めてきている何よりの証拠だといえる。そうすると人の雇用数が将来どんどん減っていくことを思うと、これからの雇用問題はさらなる厳しい展開を迎えることは想像に難くない。